

# 神戸学院大学機関リポジトリについて

神戸学院大学機関リポジトリは、本学で生産された学術研究成果を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で学内外へ発信するための電子的書庫です。

本学の学術研究成果を一元的管理し発信することで、学術情報の管理コストを低減できます。また、国内外における大学の知名度・ブランドイメージを高め、大学としての社会に教育・研究活動の説明責任を果たすことができます。

機関リポジトリへの登録により、Google等の検索エンジンを通じて学術研究成果の検索が可能になります。質の高い研究成果を誰でも無料で入手できるようになり、広く社会と学術の発展が期待されます。

## 神戸学院大学機関リポジトリのしくみ



# 神戸学院大学機関リポジトリについて

## ◆提供者のメリット

### 学術研究成果の可視性向上

Google等の検索エンジンに加え、JAIRO・CiNii(国立情報学研究所)やOAIster(メタデータ検索サービス)を通じて、世界中のリポジトリを横断検索できるため、研究の可視性が向上します。また、これまで一部にのみ流通していた資料の入手を容易にします。その結果、学内外に対し研究への認知と理解を期待できます。

### 影響力(インパクト)の向上

学術研究成果を無料で世界中に発信することで、研究の影響力(インパクト)や論文の被引用率の向上が期待できます。

### 研究業績の保存・継承

散逸しやすいデジタルデータを個人の手から大学の一元的管理へ移行することで、研究業績(学術研究成果)の永続的な保存と発信が保障されます。また、自身の研究業績をリポジトリで包括的に保存でき、利活用が行える上、収集・管理され、後世に継承されます。

## ◆登録できるコンテンツ (予定を含む)

- ◆ 学術雑誌論文
- ◆ 科学研究費助成事業成果報告書
- ◆ 研究助成金成果報告書
- ◆ 紀要掲載論文
- ◆ 講義資料・教材
- ◆ シラバス
- ◆ 学位論文
- ◆ 学会関連資料
- ◆ その他

\* 文書・画像ファイル(Word, Power Pointなど)は基本的に電子ファイル(PDF)に変換の上、公開します。  
\* 特許申請などにかかわり一定期間公表できないものは、希望日以降の公開となります。

## ◆著作権について

リポジトリに登録・公開されても著作権は移転しません。  
著者の許諾を得た学術研究成果のみ登録・公開します。

### 著作権が著者にある場合

著者の許諾により公開可能  
共著者がいる場合は、全員の許諾を事前にお取りいただき、根拠資料を提出の上お知らせください。

### 著作権が出版社にある場合

#### 出版社の許諾があれば公開可能

商業出版社や学協会から発行される学術雑誌に掲載された論文の著作権は多くの場合、発行者へ譲渡されています。海外の出版社の90%は掲載された論文を機関リポジトリへ登録することを認めています。公開可否の最終的な判断は、出版社等の示す条件のもとで図書館グループが行います。



# 神戸学院大学機関リポジトリについて

## ◆機関リポジトリ登録手順

登録対象者 ➡ 神戸学院大学の構成員(教員・職員・大学院生等)、または構成員だった方

※学位論文提出者は利用者マニュアル「学位論文の機関リポジトリ登録について」の「◆論文の提出手順について」を参照すること。

### 1. リポジトリ登録申請書およびコンテンツのご提供

#### 「(様式1)神戸学院大学機関リポジトリ登録申請書」の提出

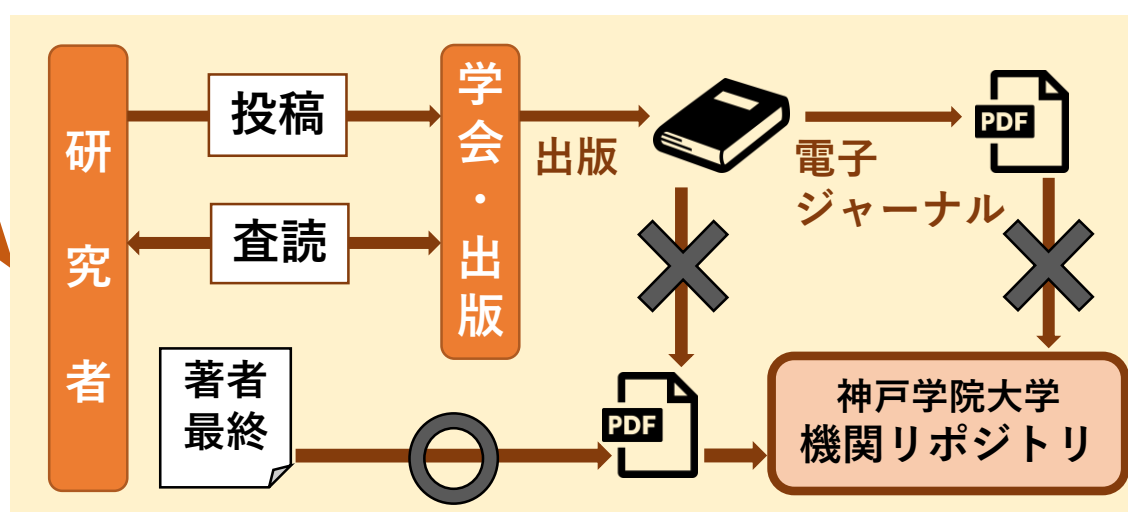
- 必要事項を記入し、図書館グループへ提出してください。
- コンテンツに共著者がいる場合は、共著者全員の許諾を事前にお取りいただき、根拠資料を添付の上、図書館グループへ提出してください。様式は自由です。  
(様式がお決まりでない場合は「(様式3)神戸学院大学機関リポジトリ登録同意書」をご活用ください。)  
なお、共著者全員の同意が得られない場合は登録・公開できません。

[repository@j.kobegakuin.ac.jp](mailto:repository@j.kobegakuin.ac.jp)宛にメールにて電子データを添付し送付

- 学術論文の場合、公開されている出版社版のPDFファイルや別刷はそのまま登録・公開できない場合があります。ただし、海外出版社の90%は著者最終稿であれば利用を許諾しています。なるべく著者最終稿を保存し、ご提供ください。

#### 著者最終稿とは？

- ・雑誌へ投稿する査読済みの原稿
- ・査読のない雑誌に投稿された最終的な原稿
- ・掲載された論文とはレイアウト等が異なる場合がある。



### 2. 図書館グループにて登録作業

#### 電子ファイル(PDF)への変換

文書・画像ファイルは編集不可のPDFに変換の上、公開します。

#### メタデータ(書誌事項)の付与

メタデータを付与することで、検索制度が向上します。

### 3. 神戸学院大学機関リポジトリへ登録・公開＝世界へ発信

\* リポジトリ登録後の学術成果の削除については「神戸学院大学機関リポジトリ運用指針」を参照。

# 神戸学院大学機関リポジトリについて

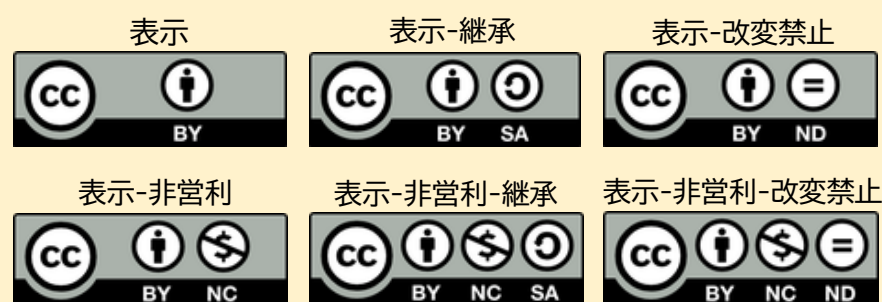
## ◆著者IDとは

著者IDを機関リポジトリに登録することで自動的に各HPへのリンクが生成され、著者IDに登録した研究者の学術研究成果一覧を簡単に確認することができます。各IDの詳細はHPにてご確認ください。

- e-Rad：府省共通研究開発システムの研究者番号（8桁）【<https://www.e-rad.go.jp/>】
- NRID：KAKEN研究者ページのID（8桁）【<https://nrid.nii.ac.jp/>】
- ORCID：Open Researcher and Contributor ID（16桁）【<https://orcid.org/>】

## ◆ライセンスとは

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CCライセンス）とは、インターネット時代のための新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。CCライセンスを選択することで、作者は著作権を保持したままコンテンツの利用範囲を設定し、利用者は作者の許諾の範囲内でコンテンツを活用することができます。CCライセンスは6種類あり、利用者に著作物の利用の範囲をアイコンで表示します。



CCライセンスの詳細については、CCライセンスを提供している国際的非営利組織Creative Commons JapanのHPをご覧ください。

➤ <https://creativecommons.jp/licenses/>

## ◆紀要の登録

- 紀要の公開について、「神戸学院大学機関リポジトリ登録申請書」は【発行物単位申請書(様式2)】にてご依頼ください。また、掲載されている論文著者全員の許諾を事前にお取りいただき、根拠資料を様式2に添付の上、図書館グループへ提出してください。様式は自由です。（様式がご決まりでない場合は「(様式3)神戸学院大学機関リポジトリ登録同意書」をご活用ください。）
- 図書館グループにご提出いただくPDFデータは、下記につきましてもご注意ください。
  - ◇冊子体で発行した内容・様式と同じであること。
  - ◇本文以外(表紙・裏表紙・目次等)も含めること。
  - ◇PDFの解像度は400dpiで統一すること。
  - ◇特殊(多彩)なフォントは、電子化の際に容量が重くなり、文字化けする恐れがあるため、極力使用しないこと。

## ◆学術雑誌論文の登録

雑誌・学会誌などに掲載された論文は、著作権が著者から発行元(出版社・学協会の機関)に譲渡されている場合があります。登録に際しては、必ず著作権の所在確認をお願いします。

### 1.外国雑誌（国外出版者）の場合

多くの出版社が、条件付きでリポジトリへの登録を認めています。特に著者最終稿は、ほとんどの出版社が登録を認めています。

「Open policy finder<<https://openpolicyfinder.jisc.ac.uk/>>」では、国外出版者の著作権ポリシーを効率的に検索できます。

ただし、更新時期によっては最新の情報が反映されていない可能性もありますので、必ず出版者の著作権ポリシー本文を参照した上で、登録依頼を行ってください。

### 2.邦文雑誌（国内出版者）の場合

日本の場合は、リポジトリへの登録に関するポリシーを公表していない出版社も多いです。JPCOARが公開している「SCPJ学協会著作権ポリシーデータベース<<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/133>>」では日本国内の学協会・出版者から刊行された論文の著作権ポリシーを確認できます。

【その他】論文に「写真や図版」を引用する場合は、電子化公開を前提として、事前に権利処理をお願いします。また、プライバシーには十分ご配慮くださいますようお願いいたします。なお、学術雑誌論文登録にあたり、ご不明な点は本学機関リポジトリ担当者までご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

神戸学院大学 図書館グループ

〒651-2108 神戸市西区伊川谷町有瀬518

☎ 078-974-1551 📠 078-974-4434

✉ repository@j.kobegakuin.ac.jp